

市岡高校開放講座

日本語日常会話講座

●教室=大阪府立市岡高校●

- 金曜日クラス 午後7時～8時30分
- イベントクラス 土曜日、日曜日などに計画
- 授業料無料

IchioKa

会報

1997/12
第8号

大阪府立市岡高校開放講座の後援団体=市岡国際教育協会会報
発行人/八木正一/編集/広報担当
大阪市港区市岡元町2-12-12 TEL:06-582-0348

現在、15ヶ国の学習者が日本語会話を学んでいます

市岡高校開放講座は大阪府教育委員会の認可する日本語会話を中心とする開放講座です。目的は、在日外国人に日本語の日常会話などの指導を主としてボランティアと学習者の交流を通して言葉の支援をすることです。

1996年10月25日、大阪府議会文教委員会が当協会の副理事長、河原府議会議員がこの開放講座の運営をどう考えているかの質問に、教育委員会は「地元に着した市岡高校開放講座に深い理解……」を示しました。

室内競技会を通して

野元洋子

皆、それぞれボランティア活動をする動機は違うだろう。しかし、誰もが生き生きとしていて、とても熱心である。なぜだろう！それは、学習者の学ぶ意欲が伝わってくるからではないでしょうか。日本を理解しようとする気持ち、しゃべれない不自由さを早く克服しようとする前向きな気持ちがひしひしと伝わってくる。これなんだ。ボランティアの人達が熱心になれるのは、人は国や民族に関係なく、努力とまじめさに勝るものはないと、この活動を通じて感じた。市岡日本語教室では、学習者との交流の一つとして、室内競技会を企画、実行した。いつものことながら、学習会が終わったからの打ち合わせ、準備は大変であったが、皆の協力で乗り越え、大会当日は、好天気に恵まれた。しかし、学習者の出足が鈍く、少し不安になったが三十分遅れで始まった。交流会当初は、学習者も緊張して様子を見ているようだったが、開会宣言、準備体操と進み、一番最初の競技の綱引きでは、紅白に別れて綱を引いた。どの顔も必死の形相、体育館は一つになつていった。結果は二対一で白が勝った。非常に盛り上がった。その後、玉突きやフリーフロアの個人競技、二人三脚、人間リレー、



大縄とびと続き、皆、童心に帰り、大人も子供も大いに楽しんだ。大人は久しぶりに汗をかき、子供は大人に混じって一歩もひけをとらずに頑張った。アツという間の二時間半。皆、心から笑い、遅れてゴールした者にも暖かい拍手を送った。楽しいひとときであった。計画、実施の大変さはどこかにもふつとんで、もつと続けたという気持ちもあり、次回はもつと大勢の参加を呼びかけ、心に残る競技大会にしたいと念じながら閉会しました。

インド紀行

鳥居久倫

8月31日～9月7日、ぼくが担当のスニールさんと一緒に、彼の故郷インドに行ってきた。誘われたときは休みもお金もないためためらいましたが、こんなチャンスは二度と無いと思いつくことにしました。いざ出発！

その1 カルチャーショック
衣食住のスタイルが違うということは頭では分かっていたが、実際経験すると全然違うのが身にしみて分かりました。まず、行ききの機内食から帰りの機内食まで食事はすべてカレーでした。みんな手で食べているのでぼくも手で食べましたがカレーは熱かった！お尻もひりひり！また、ベジタリアンとノンベジタリアンに別れており宗教の違いと信仰の強さを実感しました。そしてトイレはやはり手で……。インドの女性は美人が多くて子供もかわいい。

その2 感動

インドの神々と寺院の美しさには感動し神秘的なものを感じました。いくつかの寺院を参拝し、神々を見て、聖水を飲んでみて、インドの人々の信仰が強いというのがうなずけました。また、車で走っていると、道の両脇に大木が延々と並んでいたり、道端に色々なフルーツの木が生えていたり、遠くに見える山に離れていてもはつきり見える大きな滝があったり、自然の美しさにも感動しました。長い間受け継がれているものや、変わらずにある自然をインドで感じました。

その3 文化交流

日本の文化も知ってもらおうと思い、ソーマンと線香花火を持っていきました。まず、ソーマンはなべをかりてぼくがニューメンを作り、ネギの代わりにインドの野菜を入れ少し香りをつけました。そして、ブレゼントに持っていったおわんに入れ、箸を使って御両親や友達に食べてもらいました。

インドでもソーマンみたいな麺でやきそばを作るので、口に合うみたいで喜んでくれました。また、ぼくが箸で食べるのを見て面白がっていました。次に、線香花火はあのやさしさのある火花がいいのか、特に女性には非常に喜んでもらえたみたいです。

その4 My best friend Sunil

この旅で一番良かったことは、彼の本当の良さがよく分かった事です。彼の故郷へ行き、8日間共に生活し、家族や友達に会ってみて、彼が周りの人間を非常に大切にしており、強い信頼関係で結ばれていることが伝わってきました。いざ彼もインドへ帰っていくと思いますが、ずっと彼の関係大切にしていきたいと思っています。Thank you Sunil



フリーマーケット大成功！
10月26日、弁天町オークで行ったフリーマーケットで、¥45,780の売り上げがありました。

チャリティーコンサートも大成功！

11月30日、弁天町音楽サロン（イセント高橋さん宅）でチャリティーコンサートを行いました。このチャリティーコンサートで¥52,000の収益を得ました。これらはすべて協会の活動費として使用いたします。

3学期のお知らせ！

1月16日（金）午後7時から3学期の日本語教室が始まります。2月6日（金）で終わります。

2月13日（金）からはボランティアの研修があります。

市岡高校開放講座を後援する

市岡国際教育協会の運営にご協力を！

今後、市岡高校開放講座を支える優秀なボランティアを、今後約100人ぐらいの規模に増やし、学習者が安心して高いレベルの教育を受けられるようにしたいと思います。その為に必要な財源を確保しなければなりません。

頂いた会費は、ボランティア研修会の補助や各々の国の家庭料理教室の材料費、学習者とボランティアの懇親会等への補助、またイベント開催への補助、会費制作費、事務通信費などに使わせて頂きます。よろしくご願ひ申し上げます。

(会計・八尋愛子)

年間会費は1口2,000円です。

市岡国際教育協会

郵便振替口座番号 00900-4-95748